

ふくしょうちょうさたい

児 童 第1学年14名

授業者 竹田 成志, 二川 佳子

場 所 小1年教室

1 単元設定の理由

【単元の目標】

①内容(1)

○福富小・中学校を調べる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達などについて考えることができ、様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して生活しようとする。

②内容(8)

○学校探検で発見したことや分かったことを身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに進んで触れ合い交流しようとする。

【児童の実態】

○本学級の児童は、どの授業においても困っている友達に声をかけてやさしく寄りそうことができる。協力して課題解決に向かう姿勢がみられる。児童に「福富小学校について知っていることは何か」という事前アンケートを行った結果、児童は体育館や校長室といった、学校の施設名を多く挙げている。しかし、学校生活で直接・間接的に関わる人々のことはあまり意識していない。学校のどこに何の教室があるかは知っているが、その教室にはどのような人が関わり、何をするための教室なのかは気付いていない。

【単元観】

○本単元は、認定こども園の年長に福富小・中学校のことを紹介するために、児童が課題を解決し、調べた内容を伝えていく中で、各教室の目的やそこに関わる人々について知り、自分たちとの関わりを実感できる単元である。認定こども園の年長に紹介する活動を通して、自分たちの学校を探検したり、学校生活に関わる人々について調査したりして、自分たちの知識を増やしていくことができる。そして、学校での生活を楽しく安心して過ごそうとする態度を育成していくことができる。

【指導にあたって】

○学校を知る

単元の初めに、福富小・中学校についての現段階で「知っていることマップ」と本来の「福富小・中学校のマップ」を比較して見ることで、「自分たちは知らないことが多い」ことを児童が気づき、課題意識をもつことができるようにする。学校探検を通して獲得した知識をリストにまとめ、各教室の目的やそこに関わる人々について活動を通して新しく知ったことを児童が表現できるようにすることで、知識が増えていく実感から、肯定感の向上につなげたい。単元の終わりでは、福富小・中学校について集めた情報を整理して、認定こども園の年長児へ報告する。また、学習を振り返り、年長児の入学にむけて自分たちがどのような意識でこれからの学校生活をおくればよいのか、学校生活を楽しく過ごすためにできることはなにかを考えさせ、これからの学校生活をよりよくしようとするようにする。

○「やってみよう」を活かす

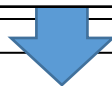
単元を通して軸となるのは「認定こども園の年長児にどんな気持ちになってほしいか」である。自分たちが福富小学校のことを説明したり遊びやそのルールを考えたりするときに、思いが伝わるような言い方、関わり方をするにはどうしたらよいのかを常に確認しながら指導していく。グループごとに活動内容や制作物を交流する時間を設けることで、学校の知識や身近な人と関わるよさについて、その理解を深めることができるようにする。

2 単元構想ストーリー

【 ふくしょうちょうさい 単元ストーリー】

福富小学校第1学年

単元の流れ	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ
○昨年度の第1学年の児童が作成した動画を見て、「今年も年長さんに小学校のことを教えたい。自分たちはこんなところを教えたい。」「年長さんを小学校に招待したい。」という課題意識をもつ。	<地域の連携> ・認定こども園の先生	○年長さんを招待して、小学校のことを教えてあげたいな。 ○初めて入る教室はたのしみだな。
○児童が認定こども園に、「年長さんを学校へ招待して、学校のことを伝えたい。」というお願いの手紙を出す。	・学校探検	○いろんな場所に行ってみたいな。
○学校のいろいろな場所を1年生のみで探検する。 (役割やものについて) ○どんな場所・ものがあつたか気付きを交流する。	・学校探検	○初めて見るよ、触ってみたいな。
○「もっと調べたい」と思った場所について個人で調べる。 (場所に関わっている人や使い方、ルールについて) ○どんな人が関わっていたのか、その人がどんなことをしていたのかを交流する。(顔写真など)	・学校探検	○認定こども園にはなかった場所があるよ。 ○図書館は、面白い本がたくさんあるね。 ○どのくらい本があるんだろう知りたいな。 ○理科室はこんなことを勉強するんだって、教えたいな。 ○学校の校庭にある木は季節で姿が違うことも言いたいな。 ○こんな人がいたんだね、知らなかったよ。
○学校探検をする視点を踏まえて、再度学校探検を行う。 (交流を通して気付いた自分たちのグループになかった視点で探検を行う。)	<地域の連携> ・認定こども園の先生	○～をしたら年長さんが喜んでくれそう。
○交流会で年長児に向けて伝えたいことを考える。 本時	・認定こども園の年長児	○わかりやすく伝えたいな。
○交流した発表内容を振り返る。		○どうやったら分かりやすく伝わるかなあ。
○交流会の計画を立てる。		○～さんたちのグループの発表は分かりやすいな。
○認定こども園の年長児に発表したり交流したりする。		○年長さんが聞いてくれてうれしかったよ。
○学習を振り返り、自分がこれからどのように生活していきたいかまとめる。		○年長さんが入学した後も楽しく過ごしたいな。



めざす児童・生徒像

自分たちが生活する「福富小・中学校」について調べ、発見したことや分かったことを友達や年長児に伝え合い、身近な人々関わることのよさや楽しさが分かり、楽しく安全に生活をしようとする児童

3 単元の評価観点・評価規準（小単元②）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○自分たちの生活を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かっている。	○自分たちの生活の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	○自分たちの生活の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、進んで触れ合い交流しようとしている。

評価の観点		評価規準	
		A	B
知識・技能	①	○友達に伝え合う活動や学校探検において、 <u>相手に応じて適切な挨拶や言葉遣い</u> をしている。	○友達に伝え合う活動や学校探検において、適切な挨拶や言葉遣いをしている。
	②	○ <u>自分の考えていることが相手に伝わる</u> ことや相手の考えていることが理解できるよさや楽しさが分かっている。	○相手の考えていることが理解できるよさや楽しさが分かっている。
思考・判断・表現	①	○学校探検を振り返り、年長児のことを思い浮かべて <u>伝わるかどうか考えながら</u> 、伝えたいことを選んでいる。	○学校探検を振り返り、年長児のことを思い浮かべながら、伝えたいことを選んでいる。
	②	○調べたことについて、気づいたことを比べたり、 <u>関連付けたりしながら話し合う</u> ことができる。	○調べたことについて、気づいたことを比べながら話し合うことができる。
	③	○学校探検や友達との交流を振り返り、発見したことや分かったことを思い浮かべながら、 <u>相手に分かりやすいように工夫して</u> 伝えている。	○学校探検や友達との交流を振り返り、発見したことや分かったことを思い浮かべながら伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	①	○課題について、自分の意見を持ち、 <u>目的をもって前向きに取り組もう</u> としている。	○課題について、自分の意見を持ち、前向きに取り組もうとしている。
	②	○役割を持ち、 <u>相手の意見を聞き</u> 、最後までやり抜こうとしている。	○役割を持ち、最後までやり抜こうとしている。
	③	○自分たちの学校のよさに気づき、愛着を持ち、 <u>さらによさを見付けて楽しく</u> 過ごそうとしている。	○自分たちの学校のよさに気づき、愛着を持ち、楽しく過ごそうとしている。

4 単元計画

小単元 (時数)	小単元の目標と主な学習内容 ◎ねらい ○学習内容	評価の観点	教科・特別活動 等との関連
①内容 (1) 学校と生活			
1 福富小・中学校をたんけんしよう (15時間)	<p>◎ 福富小・中学校について知っていることやもっと知りたいことについて考える活動を通して、学校の場所を知り、そこにどのような人が関わっているか気付くことができる。</p> <p>○学校探検をもとに、福富小・中学校について知っていることを学校の白地図にまとめ、「知っていることマップ」を作る。</p> <p>○児童が福富小・中学校について知りたいと思ったことを共有する。</p> <p>○福富小・中学校を探検し、見つけたものを交流する。</p> <p>○見つけた場所やものについて、場所の役割やルール、どのような人が関わっているかななどを調べて交流し、学校探検の視点を整理する。</p> <p>○学校探検の視点を持ち、再度探検を行う。</p>		<p><国語> はっけんしたよ</p> <p><国語> こえをとどけよう</p>
②内容 (8) 生活や出来事の伝え合い			
2 あたらしい1年生をしよう するためにじゅんぴしよう (17時間)	<p>◎ 福富小・中学校について知ったことや気付いたことを整理する活動を通して、相手に分かりやすく伝えることができる。</p> <p>○伝えたい内容を選択する。(本時)</p> <p>○年長児に伝えたいことを準備し、他のグループと交流する。</p> <p>○発表内容を振り返る。</p> <p>○年長児との交流会について計画する。</p> <p>○年長児との交流会の遊びや必要なものを考える。</p>	<p>思①</p> <p>知①</p> <p>思②</p> <p>知②</p> <p>主①</p> <p>主②</p>	<p><国語> はなしたいな ききたいな <道徳> こぐまのらっぱ</p> <p><図工> できたらいいな こんなこと</p>
3 あたらしい1年生を しようたいしよう (3時間)	<p>◎福富小・中学校について調べたことを発表する活動を通して、楽しく学校生活を過ごそうとすることができる。</p> <p>○年長児と交流会をする。</p> <p>○学習を振り返り、よりよく学校生活を送ろうとする。</p>	<p>思③</p> <p>主③</p>	<p><国語> 小学校のことをしようかいしよう <道徳> もうすぐ二ねんせい</p>

5 本時の目標

伝える相手にどんな気持ちになってほしいか考えることを通して、伝えたい内容や伝え方の工夫を考えることができる。

6 本時のルーブリック






A	B
<p><u>☆学校探検を振り返り、年長児のことを思い浮かべて伝わるかどうか考えながら、伝えたいことを選んでいく。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○の写真や本物の△△があったら年長さんにとって分かりやすいよ。 ・絵の方が年長さんにとっては分かりやすいかもしれない。 	<p><u>☆学校探検を振り返り、年長児のことを思い浮かべながら、伝えたいことを選んでいく。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・△△を教えてあげると年長さんは喜んでくれると思う。 ・○○を伝えると、～は安心してくれると思う。 ・□□は年長さんが楽しんでくれそう。 ・年長さんたちは◇◇を知らないと思うから驚くと思う。

7 学習の流れ

学習活動と予想される児童・生徒の反応 主な発問 (○)	指導上の留意事項 (◇) 評価 (☆) ◆努力を要する状況と判断した児童・生徒への指導と手立て
<p>1 学校探検の様子から前時までの活動を想起し、交流する。</p> <p>○学校探検ではどのようなことがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな先生に話を聞いた。 ・図書室には面白い本がたくさんあったね。 ・○○先生は△△をしているんだって。 <p>2 本時のめあてについて確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>年長さんに伝えたいことを考えよう。</p> </div> <p>○交流会では年長さんにどのように思っほしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクワクしてほしい。 ・楽しくなってほしい。 ・面白かったと思っほしい。 ・楽しかったと思っほしい。 ・学校のことが好きになってほしい。 ・喜んでほしい。 ・自分たちのことをかっこよく思っほしい。 ・年長さんが学校に早く入学したいと思っくれたらいい。 ・小・中学校は楽しい場所と思っほしい。 ・小・中学校を知って安心してほしい。 ・決まりを教えると安心してくれると思うよ。 	<p>◇写真を用いて学校探検の様子や自分たちが発見したことを想起させることで、楽しく活動できたことを振り返ることができるようにする。</p> <p>◇昨年度の交流会の様子を写真で見ることで、自分の経験から感じたことを想起させる。そのことから相手意識をもちながら考えさせる。</p>

<p>3 グループごとに伝えたいことは何かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽室や体育館のことを伝えたいな。 ・音楽室にたくさんの楽器があることはワクワクしてくれると思うよ。 ・本物の楽器を見せたら喜んでくれるかも。 ・音楽の先生にお願いしに行こう。 ・こども園には体育館みたいに大きなところはなかったよ。 ・体育館の中を伝えるにはどうしたらいいのかな。 ・写真を撮って見せてあげたいな。 <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○学習を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長さんがワクワクした気持ちになってほしい。 ・音楽の先生に本物の楽器を貸してもらえるかお願いに行きたい。 ・写真を撮りに行きたい。 	<p>◇年長児の姿を想像しながら考えられるようにするために、机間指導では「それをすると年長さんはどう思ってくれるか」などと問う。</p> <p>◆年長児の姿を想像することが難しい児童には、自分が楽しかったことやもっと知りたかったことを考えさせるようにする。</p> <p>☆年長児の姿を想像しながら情報を選択することができる。(思① 発言・行動観察)</p> <p>◇相手意識をもちながら今後の活動をしていくために、年長児にどう思っしてほしいのか、何を伝えたいのかを、板書を参考に振り返りをさせるようにする。</p>
---	--

小学校1年生「ふくしょうちょうさたい」

7月	9月	10月	11月	12月	1月
<ul style="list-style-type: none"> ・4月末に2年生に学校の中を案内してもらったことを思い出し、学校にある教室を話し合う。 ・自分たちは「学校のことをあまり知らない」ということに気づき、行ってみたい教室を挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校について知りたいと思ったことを共有し、児童のみで学校の中を探検する。 ・学校で見つけた場所やものについて、場所の役割やルール、関わっている人について調べて交流する。(主に中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に小学校に関わっている人について調べて交流する。 <p>☆こども園の児童に向けて、交流会の招待状を書いて送る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児を招待したときに伝えたい内容を考える。 ・園児との交流会について計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会の遊びや必要なものを考えて準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児と交流する。 <p>☆入学体験の場で、園児と交流会を行う。</p> 

学校探検 Ver. 1

学校の校内地図を見ると、「知らない部屋がたくさんある。」という発見が「行ってみたい。」という意欲へ昇華した。まずは自分たちが学校を楽しみながら知ることを目標に一回目の学校探検を行った。しかし、教室に行ったものの、何をするための部屋か分からなかったり、鍵がかけられていたり課題があった。そこで、解決するための方法を話し合い、次の探検に生かそうとする児童の姿が見られた。



学校探検 Ver. 2

一回目の学校探検で見つかった課題を受けて、再度探検の計画を練り直し実行した。鍵を開けてもらうためのお願いの仕方や職員室への入室の仕方を体験するとともに、どのような人が関わっているかを、実際に質問をして知ることができた。学校探検を通して学んだことを活用すれば、園児に福富小・中学校のことを伝えることができそうだと感じる機会となった。



<主体性を育む取組> 中学校とのつながりを活かす

学校探検では、児童が直接的に関係のない中学校舎内でも、児童が「知りたい。」「行ってみたい。」と思った教室に行けるように中学校とも連携し、環境を整えた。児童は自分の関心に沿って学校探検ができるので、自ら福富小・中学校のことについて知ろうとする姿が見られた。

<協働性を育む取組> 児童同士が関われる機会を確保する。

3～4人のグループで、インタビュアー、撮影、記録、道案内の役割をもたせて学校探検を行った。役割を遂行する中でつまづいてしまったときに、助け合いができるようにグループの編成を工夫した。活動の最後まで責任をもってやり抜くことができ、児童が「みんなでできた。」という自信につながった。